



かのや

第53号

平成31年4月26日発行

市議会だより

発行/鹿屋市議会

編集/議会報委員会



満開時のかのやばら園 ～かのやばら祭りが4月27日(土)から6月2日(日)まで開催されます。～

《目次》

3月定例会議案審議	2P～6P
その他の上程議案	7P～8P
記名投票結果	9P
一般質問	10P～14P
委員会構成	15P
市議会からのお知らせ	16P

3月定例会

平成31年3月定例会は2月21日から3月20日までの28日間の会期で開催しました。

今定例会に付議された案件は、平成31年度一般会計当初予算及び各特別会計予算議案、平成30年度一般会計補正予算議案など40件（うち報告2件）で、それぞれの議案を原案可決・同意・適任と認めるとしました。

また、陳情1件を採択・当局送付としたほか、意見書1件を原案可決し、国会及び関係行政庁へ送付しました。





平成31年度一般会計予算原案可決

一般会計予算総額540億9千200万円

3月定例会

当初予算関係

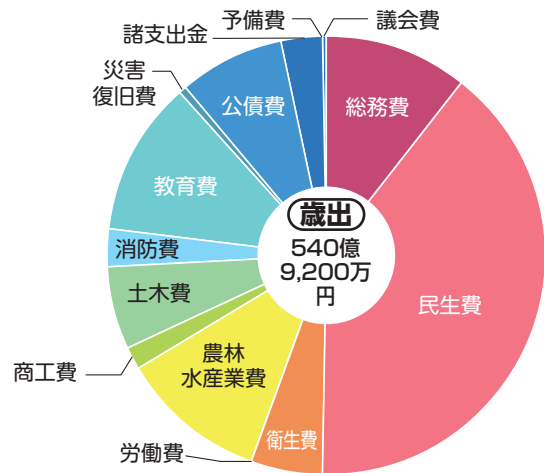
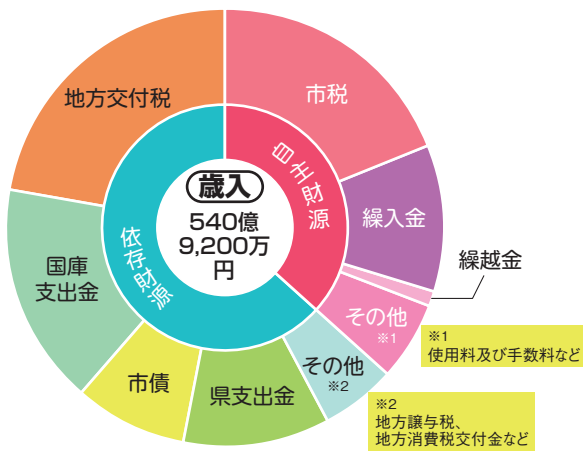
▽平成31年度鹿屋市一般会計
予算
(賛成多数可決)

平成31年度当初予算は、引き続き、市民の皆様が「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」の実現に向けて、市政運営の4つの戦略に沿った施策を計画的・重点的に推進する予算として編成した。

特に地域経済の活性化を推進するための地盤づくりや、親も子も安心して生活ができ、子育てしたいと思える環境整備など、明るい未来への投資を着実に進め、更なる鹿屋市の発展につながる取組を推進する。

この結果、歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ540億9千200万円前で前年度6月補正後の予算と比べ、7・2%の増となる。

平成31年度 一般会計予算の内訳



依存財源	342億4,718万7千円
地方交付税	119億8,000万円
国庫支出金	87億2,906万2千円
市債	46億1,300万円
県支出金	58億3,612万3千円
その他	30億8,900万2千円

自主財源	198億4,481万3千円
市税	102億6,015万円
繰入金	58億6,584万6千円
繰越金	6億円
その他	31億1,881万7千円

議会費	3億3,299万1千円	土木費	33億3,840万7千円
総務費	57億6,819万5千円	消防費	14億6,285万3千円
民生費	210億8,811万7千円	教育費	61億8,092万4千円
衛生費	28億8,454万1千円	災害復旧費	2億3,550万円
労働費	5,977万1千円	公債費	42億7,269万9千円
農林水産業費	57億9,043万9千円	諸支出金	16億7,499万8千円
商工費	9億8,226万5千円	予備費	5,000万円

平成31年度 各会計別当初予算額

(単位：千円)

会計名		予算額	前年度比
一般会計予算		54,092,000	7.2%増
国民健康保険事業特別会計予算		11,265,596	1.0%増
後期高齢者医療特別会計予算		1,328,468	3.2%増
介護保険事業特別会計予算		11,095,981	3.7%増
公共下水道事業特別会計予算		1,008,178	2.2%増
下水道特別会計予算		71,663	13.0%減
水道事業会計予算 (消費税込)	収益的収入	1,789,042	1.0%増
	収益的支出	1,587,897	1.0%増
	資本的収入	52,234	112.3%増
	資本的支出	681,667	19.9%増



業費などを計上
保険給付費及び地域支援事業費などを計上

▽平成31年度鹿屋市介護保険事業特別会計予算
(全会一致可決)

上
後期高齢者医療広域連合納付金及び保険事業費などを計上

▽平成31年度鹿屋市後期高齢者医療特別会計予算
(全会一致可決)

出金などを計上
保険給付費、国民健康保険事業費納付金及び共同事業拠

▽平成31年度鹿屋市国民健康保険事業特別会計予算
(全会一致可決)

水道施設拡張事業、水道施設維持管理事業、未給水地区整備事業、基幹管路耐震化整備事業及び道路工事等に伴う配水管整備事業の実施に要する経費などを計上

▽平成31年度鹿屋市水道事業会計予算
(全会一致可決)

上
事業費及び公債費などを計上

▽平成31年度鹿屋市下水道特別会計予算
(全会一致可決)

旧費などを計上
事業費、公債費及び災害復

▽平成31年度鹿屋市公共下水道事業特別会計予算
(全会一致可決)



◎主な事務事業

○農林水産物直売所整備支援事業

2020年4月オープンに向けて鹿児島もつき農業協同組合が整備を進めている農林水産物直売所は、本市の豊かな食材を活用した地産地消や市民と生産者の交流の促進、地元農家の所得向上などにより、本市の農業振興に大きく寄与することが期待されることから、その整備に対する支援を行うための経費
4億2千705万3千円

○スマート農業推進事業

農業や畜産業の現場における作業の効率化と生産性の向上を図るため、環境制御装置やドローンなどのIoT機器を活用して、超省力・高品質生産を実現するスマート農業の推進に要する経費
846万7千円

○畑作産地力向上事業

かのや紅はるかの生産体制の強化や、西洋野菜の実証ほの設置のほか、生産力

のアップを目指すため、鹿屋市農業公社でのソリダゴ及びトマトの実証栽培などを通じて、スプレー菊とともに輝北地区における栽培可能な作物の確立を図るための経費
923万円



○日本一和牛ブランド確立事業

「日本一和牛のふる里かのや」の確立と、第12回鹿児島全共に向けた取組として、中心的な役割を担う畜産経営体の施設整備とともに、繁殖農家・肥育農家における生産基盤の維持・拡大に対する支援を行うための経費
6千109万6千円

○戦跡保存活用事業

アメリカ国立公文書館での戦争関連の資料収集や、平和教育を推進するためのマーケティング調査などを実施し、戦跡等の歴史を活かし、平和をテーマとした文化・観光振興の推進を図るための経費
1千528万2千円

○霧島ヶ丘公園活性化プロジェクト事業

霧島ヶ丘公園の活性化を目指し、これまで民間事業者の提案により進めてきた施設整備の新たな取組として、平成32年5月オープン予定の「(仮称)黒豚ふれあい工房」の整備に必要な敷地造成等を行い、官民協働による魅力ある公園づくりを進め、誘客促進を図るための経費
4億8千790万7千円

○子育て世帯サポート事業

国民健康保険に加入している多子世帯の負担を軽減するため、第3子以降の国民健康保険税の均等割を免除し、就学援助費制度にお

ける必要保護世帯の入学準備金の額を引き上げて、子育て世帯の負担を軽減するための経費
3千838万1千円

○産婦健康診査事業

心身ともに健やかな母子の成長を支援するため、出産後間もない時期の産婦健康診査費用を助成し、産後うつや新生児の虐待などの未然防止を図るための経費
1千8万5千円

○子育て環境施設整備事業

定員増を行う保育所等の施設整備費助成や利用者が多い大規模な放課後児童クラブの分割を行い、児童の健全育成と安全安心な子育て環境を確保するための経費
4億8千16万5千円



○学校環境整備事業

生徒数の増加に伴う鹿屋東中学校の増築工事や、老朽化した串良中学校の大規模改造工事のほか、小中学校の全ての普通教室の空調化を推進するための経費
5億1千339万8千円

○鹿屋女子高施設整備事業

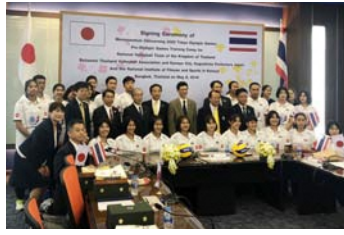
安全で快適な学習環境を確保するため、平成32年4月の供用開始に向けて新校舎(1棟)の整備を進めるとともに、サブ体育館や集会室、生徒の作品展示ギャラリー等の機能を備えた多目的ホールを建設するための経費
16億8千115万2千円



○ホストタウン事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、「ホストタウン」相手国のタイ王国と積極的な交流を進め、五輪出場に向けた支援を行い、新たにタイ国際交流員を配置し、観光・教育・地域経済など、様々な分野での幅広い市民交流を推進するための経費

1千439万3千円



○国際交流推進事業

互いの文化や風習を尊重・理解できる多文化共生社会を目指し、外国人の生活支援や、国際化への機運醸成を図る交流イベントを開催するための経費

1千356万円

○文化のまち鹿屋魅力アップ事業

各地域の郷土芸能を次代につなぐドキュメンタリー映像や市民歌舞劇を制作・上演し、市民が誇りと愛着を持てる文化の香り高いまちづくりを推進し、併せて図書館・文化会館・中央公民館を一体的に活用し、「読書」をテーマとした「文化ゾーンまるごとブックフェスタ」を開催するための経費

834万7千円

○みんなで楽しむスポーツライフ推進事業

障がい者スポーツに対する理解の浸透とその普及を図るため、競技用車いすを活用した体験型の障がい者スポーツイベントを開催し、併せてサイクリングイベントや、プロ野球のOB選手を招いたドリウムベイスポールの開催などにより、様々なスポーツに親しめる機会をつくるための経費

2千38万9千円

○かごしま国体リハーサル大会実施事業

2020年のかごしま国体で実施されるバレーボール・自転車ロードレース競技のリハーサル大会を開催し、大会運営を検証するとともに、花いっぱい運動などによる市民総参加の取組を推進し、国体に向けた機運醸成を図るための経費

5千922万8千円



○総合交通対策事業

新たに2路線で「くるりんバス」の実証運行を実施するとともに、利用者の多い寿中央バス停に上屋を設置し、日常生活の利便性向上と待合設備の改善を図るための経費

1億3千306万7千円

○防犯対策事業

鹿屋市防犯協会と連携し、町内会保有の防犯灯を31年度から3か年で全てLEDに変更するとともに、大隅随一の繁華街である新天街通り周辺に防犯カメラを増設するなど、犯罪を未然に防止する環境整備を進め、安全安心なまちづくりを努めるための経費

5千281万6千円

○防災・減災対策事業

近年、頻発する大型自然災害に備え、避難施設備品の充実を図るとともに、総合防災訓練の実施や防災マップの更新、出前講座などにより自主防災組織を育成し、市民の防災意識の向上を図り、災害につよいまちづくりを努めるとともに、市内各所で発生している浸水・冠水の解消に向け、公共用地を活用した雨水流出抑制施設の整備を進めるための経費

2億9千622万円

○畜産臭気対策事業

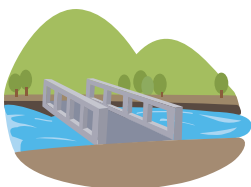
畜産に起因する環境問題の解消に向けて、臭気対策資材の普及促進やEM菌の配布農家の拡大に取り組みとともに、畜産環境セミナーの開催を積極的に行うなどし、畜産農家の意識啓発を図るための経費

548万4千円

○災害からの復興祈念事業

平成28年9月の台風16号により甚大な被害を受けた道路や橋梁、河川、農地等の復旧を終え、作付けも始まり、生活機能も回復したことから、被災状況をパネルで振り返り、教訓としつつ、郷土芸能の奉納や農産物の販売等を行うとともに、自然の恵み豊かな五穀豊穡を願い、地域の活性化を図るための経費

401万9千円



補正予算関係

▽平成30年度鹿屋市一般会計
補正予算(第6号)
(全会一致可決)

国の補正予算に伴う事業経費を計上するほか、各種基金への積立て、事業費の確定に伴う減額等を中心に編成

▽平成30年度鹿屋市一般会計
補正予算(第7号)
(賛成多数可決)

国の補正予算(第2号)において成立した、低所得者・子育て世帯のプレミアム付商品券事業について、準備経費を予算措置

▽平成30年度鹿屋市国民健康
保険事業特別会計補正予算
(第1号)
(全会一致可決)

一般被保険者療養給付費等の増加による増額及び国民健康保険基金への積立て

▽平成30年度鹿屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
(全会一致可決)

前年度決算繰越金に係る広域連合への保険料分納付金及び一般会計への繰出金の増額

▽平成30年度鹿屋市介護保険
事業特別会計補正予算(第2号)
(全会一致可決)

前年度決算繰越金に係る一般会計への繰出金等の増額及び居宅介護サービス給付費など介護給付費の決算見込みに伴う増額

▽平成30年度鹿屋市公共下水
道事業特別会計補正予算
(第2号)
(全会一致可決)

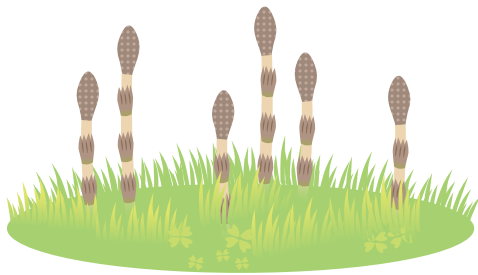
前年度決算繰越金に係る一般会計への繰出金の増額及び事業費の決算見込に伴う減額

▽平成30年度鹿屋市下水道特別会計補正予算(第1号)
(全会一致可決)

前年度決算繰越金に係る一般会計への繰出金の増額及び事業費の決算見込に伴う減額

▽平成30年度鹿屋市水道事業
会計補正予算(第1号)
(全会一致可決)

鹿屋市水道事業の決算見込みに伴う所要額の補正



平成 30 年度 各会計別補正予算額

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の 予算総額
一般会計補正予算(第6号)	919,915	54,090,392
一般会計補正予算(第7号)	18,099	54,108,491
国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	792,837	11,944,970
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	11,427	1,298,417
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	379,954	11,086,826
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	2,210	992,255
下水道特別会計補正予算(第1号)	△ 23,401	58,925
水道事業会計補正予算(第1号) (消費税込)	収益的収入	25,662
	収益的支出	△ 32,206
	資本的収入	2,000
	資本的支出	△ 5,245

3月定例会 その他の上程議案・採決結果

No. 1

議案名	概要	結果 (※施行日)
鹿屋市公告式条例の一部改正について	条例、規則等の公布等の方法の変更について所要の規定の整備を行うもの	全会一致可決 (H31.4.1)
鹿屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	超過勤務命令を行うことができる時間の上限等の規定について所要の整備を行うもの	全会一致可決 (H31.4.1)
鹿屋市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について	所得税法の一部改正に伴い、医療費助成の対象要件の定義変更について所要の規定の整備を行うもの	全会一致可決 (H31.3.20)
鹿屋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	介護保険法の一部改正に伴い、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定めるもの	全会一致可決 (H31.3.20)
鹿屋市国民健康保険基金条例の一部改正について	国民健康保険事業の円滑な運営を図るため、基金を処分できる対象を拡大するもの	全会一致可決 (H31.4.1)
鹿屋市国民健康保険税条例の一部改正について	多子世帯に係る国民健康保険税の負担軽減を図るため、所要の規定の整備を行うもの	全会一致可決 (H31.4.1)
鹿屋市工場等立地促進に関する条例の一部改正について	本市への更なる企業立地の促進及び立地企業等の定着を図るため、優遇制度の助成要件の拡大等について所要の規定の整備を行うもの	全会一致可決 (H31.4.1)
第2次鹿屋市総合計画(第2期鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略)の基本構想の策定について	鹿屋市議会の議決すべき事件を定める条例第2条第1号の規定により、第2次鹿屋市総合計画の基本構想を策定しようとするもの	全会一致可決
垂水市との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と垂水市との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
志布志市との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と志布志市との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
大崎町との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と大崎町との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
東串良町との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と東串良町との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決

※施行日については、条例改正等の施行日を参考掲載しています。

3月定例会 その他の上程議案・採決結果

No. 2

議 案 名	概 要	結 果
錦江町との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と錦江町との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
南大隅町との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と南大隅町との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
肝付町との間において締結した大隅定住自立圏形成協定の変更について	大隅圏域の課題解決に向け、定住自立圏構想における現行の取組を推進するため、鹿屋市と肝付町との間において締結した定住自立圏形成協定を変更しようとするもの	全会一致可決
鹿屋市過疎地域自立促進計画の変更について	(仮称) 鹿屋市立北部学校給食センターの整備に伴い、鹿屋市過疎地域自立促進計画の一部を変更しようとするもの	全会一致可決
財産(建物)の無償貸付の議決事項の一部変更について	旧平南小学校に係る財産(建物)の無償貸付の議決を受けた事項について、貸付期間を変更したいので議会の議決を求めるもの	全会一致可決
財産(建物)の無償貸付について	旧百引中学校及び旧平南小学校の校舎等の有効活用を図るため、当該財産を無償貸付することについて議会の議決を求めるもの	全会一致可決
市道路線の変更について	市道路線を変更するもの (本白水3号線ほか2路線)	全会一致可決
財産(物品)の取得について	(仮称) 鹿屋市立北部学校給食センターの厨房設備に必要な厨房機器一式の取得について、議会の議決を求めるもの	全会一致可決

指定管理者の指定議案・採決結果

施 設 名	指定管理者	指定期間	結 果
鹿屋市交流センター「湯遊ランドあいら」の指定管理者の指定について	中島製菓株式会社	平成 31 年 4 月 1 日から 平成 34 年 3 月 31 日まで (3 年間)	全会一致可決



人事関係

▽副市長の選任について

宮地 修平

(同意)

陳情・意見書

陳情

(採択としたもの)

▽奥山等のスギ・ヒノキ放置

人工林を、森林環境譲与税

(仮称)で順次計画的に皆

伐を進め、天然林に戻すこ

とを求める陳情

(適任と認める)

松田 典子

閉会中の継続調査

議会運営委員会

▽次期議会の議会運営に関する事項及び議長との諮問に関する事項について

意見書

(可決としたもの)

▽豚コレラ対策の強化に関する意見書(案)

※可決した意見書は国及びそれぞれの関係行政庁へ送付しました。

(否決としたもの)

▽高すぎる国民健康保険料(税)の引下げへ抜本的改善を求める意見書(案)

▽2019年10月からの消費税10%の中止を求める意見書(案)

議案の記名投票結果

議員名	件名																											
	柴立豊子	岩松近俊	中馬美樹郎	近藤善光	佐々木茂己	繁昌誠吾	伊野幸二	原田靖	米永淳子	吉岡鳴人	田辺水哉	新保秀美	西園美恵子	福田伸作	福崎和士	市来洋志	時吉茂治	別府込初男	梶原正憲	松本辰二	東秀哉	児玉美環子	岡元浩一	今村光春	永山勇人	下本地隆	花牟礼薫	
平成31年度鹿屋市一般会計予算	賛成	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	反対	○	○						○									○										
平成30年度鹿屋市一般会計補正予算(第7号)	賛成	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	反対	○	○						○																			
高すぎる国民健康保険料(税)の引下げへの抜本的改善を求める意見書(案)	賛成	○		○					○		○							○										
	反対		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2019年10月からの消費税10%の中止を求める意見書(案)	賛成	○		○					○																			
	反対		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一 般 質 問

3月定例会では、5会派と4人の議員により市政全般に関する一般質問が行われました。紙面の都合により質問・答弁を要約して掲載していますので、詳細な内容については鹿屋市議会会議録若しくは市議会ホームページをご覧ください。

《代表質問》

- ・ 児玉美環子 (会派至誠・公明)
- ・ 市来 洋志 (会派創生)
- ・ 原田 靖 (未来かのや)
- ・ 梶原 正憲 (政経クラブ)
- ・ 東 秀哉 (政伸クラブ)

《個人質問》

- ・ 柴立 豊子
- ・ 中馬美樹郎
- ・ 時吉 茂治
- ・ 米永 淳子

代表質問

会派 至誠・公明



代表質問者
児玉美環子
議員

会派構成議員

- ・ 福崎 和士
- ・ 永山 勇人
- ・ 近藤 善光
- ・ 下本地 隆
- ・ 福田 伸作

財政について

問 合併特例債、臨時財政対策債及び市債の残高について示されたい。

また、平成31年度に導入される森林環境譲与税について、予想される予算額及び事業内容を示されたい。

答 平成29年度末における合併特例債の残高は100億7千137万9千円、臨時財政対策債の残高は178億4千907万7千円となっており、市債全体の残高は389億716万2千円となっている。

また、森林環境譲与税は、森林の適切な整備・管理を行うため、森林経営管理法に合

わせ、その財源として譲与されるもので、本市は2021年度まで各年度、約2千万円が譲与される見込みであり、市有林の調査や民間の林業事業体の高性能機械の導入支援、中間土場の整備に向けた検討などの取組を進めている。

安心安全なまちづくりについて

問 相次ぐ児童虐待の実態を踏まえ、本市の児童虐待防止策の強化を図る考えはないか。

また、本市の児童虐待防止策とその課題を示されたい。

答 虐待は、保護者の生活困窮、疾病や育児不安など、様々な要因が重なっており、一つの機関だけで解決するのは困難な状況にあることから、鹿屋市要保護児童対策地域協議会を設置し、児童相談所や保健相談センター、学校、警察などと連携し対応している。

また、今回の事案を受け、本市では市内全ての児童について、現在の養育状況等を緊急に確認するための調査を各関係機関に要請している状況である。

豚コレラ防疫体制の現状について

問 本市の防疫体制の現状はどのようなになっているか。

また、万が一発生した場合の通報、対応体制はどのようになっているか。

答 豚コレラに関する情報は、本市と農協等とで構成する鹿屋市豚病防疫対策協議会を中心に全養豚農家へ周知するとともに、農場入口周辺や出入車両等の消毒の徹底を指導するなど防疫対策を講じている。併せて、消毒薬やマスク、防疫服等の消毒資材等の備蓄及び車両消毒用の動力噴霧器の整備なども行っている。

また、万が一発生した場合、移動制限区域が敷かれ、殺処分等が行われる中、市は周辺住民への対応を含め、防疫・消毒作業等を行う。

(その他の質問項目)

- ・ ペーパーレスによる省コスト化と事務処理の効率化について
- ・ 改元について
- ・ 投票率向上の取組と期日前投票所の在り方について
- ・ 農政について

代表質問

会派 創生



代表質問者 市来 洋志 議員

会派構成議員

- ・花牟礼 薫 ・今村 光春
- ・佐々木茂己 ・繁昌 誠吾

ふるさと納税による寄附金の活用方法について

問 ふるさと納税の具体的な活用方法を示されたい。

答 ふるさと納税のこれまでの主な活用事業として、情報インフラ整備事業、平和公園野球場整備、プレミアム商品券発行事業、C&Kの野外ライプや、リナシテイまるごと博物館、花いくさの公演などを行う文化のまち鹿屋魅力アップ事業などがある。

また、平成31年度は、霧島ヶ丘公園活性化プロジェクト事業、国際交流推進事業、ふるさと会との連携強化や鹿屋女子高の多目的ホールの建設などに充当予定である。

道路行政について

問 台風16号により、多大な被害を受けた市道百引・岳野線を被災前の現状に復旧すべきであると考えますがどうか。

また、地域によって費用対効果的な考えで災害復旧をすようないかがあつてはならないが、どのように考えるか。

答 市道百引・岳野線は被災した約2.5kmの内、岳野集落から農地への取水施設のある約1.5km区間について復旧工事を行ったが、残りの約1kmの区間については、被災状況を岳野集落の方々に説明し、迂回路となる農道岳野線及び林道ツイデ平線の環境整備を行うことで理解をいただき、現在は通行止めとなっている。

また、被災した道路については、原形復旧を行うことを原則とし、復旧に努めているが、災害の規模や状況、周辺の土地利用や道路の利用状況に判断した上で、地域住民の理解が得られた場合は、復旧工事を見送ることもあり得ると考えている。

スポーツ施設について

問 平成26年度にスポーツ施設再配置計画が策定され、今年度はその検証を行っているとの説明を受けた。検証結果と計画変更の理由、及び今後の整備方針を示されたい。

答 スポーツ施設再配置計画における鹿屋中央公園のテニスコート整備の見直しについては、競技団体からは概ね了承をいただいている。

具体的には、鹿屋中央公園テニスコートとの連携を図る上で、コート数の確保やアクセスの良さから西原健康運動公園テニスコートの整備の検討を行い、競技団体の意見を踏まえた上で、当該公園のテニスコートについては利用に一部支障があることから、平成31年度に地質調査等を行うこととしている。地質調査の結果を踏まえ、競技団体や地元住民との調整を行いながら整備を進めてまいりたい。

(その他の質問項目)

- ・本市の将来ビジョン・都市計画について
- ・農業政策について

個人質問



柴立 豊子 議員 (日本共産党)

児童虐待に対する対応について

問 東京都目黒区や千葉県野田市での事件後、本市の事例について再確認したのか。

また、虐待はいじめと同じく加害者側の問題が大きい。問題を起こす親に対して、どのような対策を講じているか。

答 今回の事件を受け、個別事案ごとに、再度安否確認や情報収集を行うとともに、関係機関と協議し、確認作業を行ったところである。

また、児童虐待のうち、著しく児童に不利益を生じさせるような事案の場合、児童相談所による早期介入と一時保護などの措置を行い、児童の安全確保を図り、その親に対して必要な指導を行うこととなっており、何らかの支援が必要な事案の場合は、個別ケース検討会議において、関

係機関での役割分担を確認した上で、その世帯に応じた支援を行っている。

やってみたい仕事ができるまちづくりについて

問 生計費は全国ほとんど変わらないと言われるが、考えを示されたい。

また、行政としては、特に公共工事に従事する労働者に対して入札の労務単価で賃金が支払われているかを注視していく必要があると考え、本市の状況はどうか。

答 生計費については、消費者物価地域差指数の直近のデータを見ると、地域別格差は認められると考えている。

また、労務単価については、毎年10月に実施される賃金支払い実態調査を基に設定されており、下請契約及び下請代金支払の適正化については、国から建設業団体に対し、建設業法など関係法令を遵守するよう通知がなされていることから、本市においても国・県からの通知を遵守するよう関係業界団体に要請してまいりたい。

代表質問

未来かのや



代表質問者 原田 靖 議員

会派構成員議員 伊野 幸二 ・ 岩松 近俊

鹿屋市総合計画について

問 人口減少がこれからの地域づくりの上で最大の課題と言われるが、具体的にどのような影響が考えられるか。

また、その解決のためにどのような対策を図っていくか。

答 人口減少の影響として、消費の縮小や産業活動の停滞、労働者の減少など地域経済に与える影響や、空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの衰退による地域活力の喪失などが懸念される。

人口減少対策については、企業誘致や農林水産業の振興による雇用の場の創出、地域の特徴を活かした移住・定住の推進、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない子育て

支援の充実、健康づくり・生きがいづくりの充実による健康寿命の延伸など、自然減と社会減の改善を図りながら、大隅地域の拠点機能を維持確保するとともに、大隅地域を支えるコンパクトなまちづくりに取り組んでまいりたい。

霧島ヶ丘公園活性化について

問 霧島ヶ丘公園活性化プロジェクト事業の現状と今後の展望について示されたい。

答 霧島ヶ丘公園活性化プロジェクトは4事業者が採択され、これまで3事業者が順次事業を開始しており、平成31年度には、残る4事業者目の黒豚ふれあい工房の建設工事に着工し、平成32年度にオープンする予定となっている。

現在、本市と事業者等で構成された霧島ヶ丘公園管理運営協議会において、新たなイベントの企画立案等について意見交換等を行っており、今後、ばら祭り実行委員会との合同イベントを企画するなど協議会の充実を図り、さらなる活性化に努めてまいりたい。

教育行政について

問 鹿屋女子高の活性化について、どのように推進しているか。

答 鹿屋女子高の活性化については、生徒が学校説明会等で出身中学校に出向き、女子高のPRを自らの言葉で直接後輩に伝える機会を設けるほか、全国2位の全商検定全9種目1級合格者数や県下トップの家庭科技術検定3種目1級合格者数などの実績をはじめ、大学や短大、専門学校等への進学実績、高い地元就職率等についても、広報等を強化してまいりたい。

また、域外からの入学者確保も必要であることから、域外の中学校への情報発信等をさらに強化するとともに、バスをはじめとする通学環境の改善についても関係部署等と連携するなど、積極的に取り組んでまいりたい。

(その他の質問項目)

- ・ これからの自治体運営について
・ 高齢者福祉について
・ 外国人技能実習制度について

個人質問



中馬美樹郎 議員 (社会民主党)

鹿屋女子高等学校の活性化について

問 来年度入学志願者は何人か。

また、定員充足率向上に向けて、ホームページのリニューアル、パンフレットの刷新、下宿やシェアハウスの確保などの取組がなされているが、現状と課題を示されたい。

答 来年度の入学志願者数は、2月25日に発表された一般入試の最終出願者数143人に推薦入試の合格内定者15人を加えた158人が志願している。

また、定員充足率向上については、昨年4月にホームページとパンフレットを刷新するとともに、公式LINE@を開設し、ホームページと連動させた積極的な情報発信に取り組んでおり、下宿やシェアハウスの確保について

は、今後、域外からの入学者の確保を推進していく上で、シェアハウスでの食事提供や新たな下宿等の確保が課題であると考え、検討を進めているところである。

学校における働き方改革について

問 平成30年度の本市小中学校における経営方針等の中に、働き方改革に関する記載がある学校の割合を示されたい。

また、教職員の年間の平均年休取得日数はどのような実態か示されたい。

答 本年度当初から、経営方針やブランドデザイン、学校評価等に働き方に関する記載を盛り込んでいた学校は50%で、年度途中から記載を加えた学校は42%であった。

また、平成29年度の本市の小中学校の教職員の平均年休取得日数は、11.6日であり、年次有給休暇の平均年間取得日数の目標を15日と掲げていることから、今後、各学校に対し、年休取得者の授業の補充体制を整えるよう指導してまいりたい。

代表質問

政経クラブ



代表質問者
梶原 正憲
議員

会派構成員議員

・別府込初男 ・田辺 水哉
・吉岡 鳴人

天皇陛下の退位と皇太子殿下の即位に伴う本市の対応について

問 皇太子殿下が新天皇に即位される5月1日が祝日となり10連休となるが、本市の医療や保育サービス等の提供体制はどのようなになるか。

答 連休中の対応として、医療サービスについては、医師会等の関係機関と協議しながら、サービスの確保に努めてまいりたい。

また、保育サービスについては休日保育を実施している施設が1か所あり、連休期間中も開設予定である。関係機関に協力を求めるなどサービスの確保に努めてまいりたい。

さらに、行政サービスの提供については、連休期間中の市民生活への影響や、どのような課題があるかを見極め、併せて県や他市町村の動向をみながら、連休期間中に必要なサービスの提供に努めてまいりたい。

上下水道事業について

問 全国的に水道施設の老朽化が危惧されている中、耐震化などの水道施設の管理状況を具体的に示されたい。

また、浄水施設や配水池などの環境整備に係る今後の計画を示されたい。

答 水道管の耐震化については、法定耐用年数を超過した基幹管路や救急病院、避難施設などの施設までの水道管整備を優先的に進めている。

また、浄水施設や配水池施設のフェンス交換は、年次的に対応することとしており、今後は浄水施設の民間警備委託や監視カメラ等の導入を計画するなどセキュリティ対策に努めてまいりたい。

なお、浄水施設における施設環境として、維持管理等に

必要な機械類の軽微故障等は、その都度修理しており、更新等については法定耐用年数を考慮し、本市の更新基準により対応している。

鹿屋市総合計画及び施策推進について

問 少子高齢化の進展に伴う社会保障費の増大や、普通交付税の合併特例措置が2020年度に終了し、財政運営は一層の厳しさを増してくると想定されるが、財源確保など、将来の財政見込みをどのように捉えているか。

答 財政運営については、歳入面からみると、地方税制の改正や消費税引上げの影響から、増収は見込めない状況であり、歳出面においては、扶助費について、障害福祉サービスの充実や少子高齢化に伴う社会保障に係る経費の増大に加え、幼児教育の無償化などにより、今後更に増加することが予想されている。

今後、行財政改革に徹底して取り組み、将来にわたって持続可能な規律ある財政運営に努めてまいりたい。

個人質問



時吉 茂治
議員
(無所属)

県人事委員会勧告と総務省通知の遵守について

問 本市における企業規模50人以上で、かつ、事業所規模50人以上の民間事業所は何箇所あるのか。

また、市長は本市における民間企業の給与実態調査をなぜ行わないのか。

答 本市における企業規模50人以上の民間事業所数については、平成26年経済センサスによると102事業所となっている。

また、給与実態調査については、人事委員会を持たない市町村は国の通知に基づき、人事院や人事委員会の勧告に準拠して給与改正を行っていただくことなどを総合的に勘案すると、人事院勧告を基本とし、本市を含む県内の民間事業所を調査対象とした鹿児島県の

人事委員会の勧告を参考とすることが、最も適切な方法であると考えている。

砂防指定地「白崎谷」埋め立て後の公園整備について

問 寿5丁目の白崎谷の砂防事業が終わったが、跡地の公園化について、市はどのように考えているのか示されたい。

また、白崎谷の公園整備事業を促進するにはどのような課題があるのか示されたい。

答 白崎谷の跡地利用については、地元の町内会などから要望が出されており、公園化に向けた検討を行った経緯がある。

しかしながら、完成した現状を見ると、周囲からの見通しが悪く防犯上の問題があること、降雨状況により雨水が集中する可能性があること、入口付近に民地があることなど様々な課題があることから、幼児からお年寄りまで幅広く利用される公園化の整備については、県との協議や、関係団体等の皆さんに幅広く意見を聞きながら、慎重に検討してまいりたい。

代表質問

政伸クラブ



代表質問者

東 秀哉
議員

会派構成員議員

・松本 辰二 ・西蘭美恵子
・新保 秀美

鹿屋市総合計画について

問 買い物や医療など多様な都市機能の集積により利便性を高め、良好な居住環境の整備を図ることでまちなかへの居住を促進するとしている。その具体的構想を示されたい。

答 平成28年に策定した都市計画マスタープランにおいて、買い物や医療など都市機能の集積により利便性を高め、良好な居住環境の整備を図り、まちなかへの居住を促進していく、いわゆるコンパクトなまちづくりを推進していく方針を示しており、また、第2次鹿屋市総合計画の中でも具体的施策として予定している。今後は、都市機能や居住を

誘導すべき区域の設定や誘導策を盛り込んだ立地適正化計画を策定してまいりたい。

森林経営管理制度導入について

問 森林経営管理法による森林経営管理制度導入の、本市における意義・目的について示されたい。

また、意向調査のための事前準備は図られているか。

答 森林経営管理制度は、森林所有者が森林の経営管理ができない場合、森林所有者への意向調査を経て、市町村が委託を受け、林業経営に適した森林は林業経営者に再委託できることとされ、林業経営に適さない森林は市町村が直接管理を行う制度である。また、意向調査の事前準備については、県や森林組合等と連携し、手入れが行き届いていない森林のうち、所有者情報等が一定程度整理された区域を見極める必要があることから、森林簿や林地台帳等を活用しながら、対象となる森林の抽出や所有者の確認に向けた準備を進めている。

外国人労働者による人手不足の緩和について

問 本市の近年における外国人労働者の現状と課題、今後の対応策を示されたい。

答 外国人に対する生活上の支援が課題となっていることから、在住外国人に対する支援として、平日及び土曜日の夜間に開催している日本語教室や鹿屋市国際交流協会が主催している外国人と市民とが触れ合える交流イベントに取り組んでいる。また、本市の国際交流及び多文化共生社会を推進するため、鹿屋市国際交流指針を策定中であり、来年度は日常生活を支援するためのごみ分別や災害避難情報などをまとめた生活便利帳を多言語で作成する予定である。

(その他の質問項目)

- ・ 日本版C C R C構想について
- ・ 水道事業について
- ・ 豚コレラ防疫について
- ・ 医療行政について
- ・ 市職員の働き方改革について
- ・ 児童虐待防止について

個人質問



米永 淳子
議員
(社会民主党)

市民の声を受けた「ぬくもりと豊かさを実感できる明るい未来づくり」について

問 死亡に関する各種届出作成を一括で補助し、その後、各課の職員が窓口まで順次出向き、手続が終わるまでワンストップでサポートする、遺族に寄り添いぬくもりを実感できる「おくやみ窓口」を設置する考えはないか。

答 国民年金の年金受給者死亡届や固定資産の相続手続など専門性を要する場合は、各担当窓口において手続をする必要があり、ワンストップで全ての手続を行うことは難しいが、手続案内資料を活用し、関係課に案内するなど、できるだけ短時間で完了できるようにしている。

今後も、申請者の負担軽減のため、関係する各課届出書類の検証や、先進的に取り組んで

んでいる市町村等を参考にし、市民サービス向上に取り組んでまいりたい。

健康寿命延伸対策について

問 健康ポイント制度は、今後もその効果が期待されるが、県の補助金がなくなった場合、中止するのか。

また、さらなる拡大が必要だと思いが、今後の展開をどのように図っていくのか。

答 本事業は、事業開始以降、登録者も年々増加傾向にあり、介護予防や健康増進、生きがいづくりなどに効果が目に見え、引き続き、県に事業の継続実施について、要請してまいりたい。

また、健康寿命の延伸が叫ばれる中、健康づくりに楽しく取り組めるような環境整備は重要であり、市民の健康づくりを推進し、市民への広がりや促進する上で、これらのポイント事業は一定の効果があることから、今後も、市民の健康づくりへの意欲をなお一層高めることができるよう、創意工夫しながら取り組んでまいりたい。

委員会構成

平成31年度の議会運営委員会及び各常任委員会の委員会構成が決まりました。
(◎は委員長○は副委員長)

◆議会運営委員会

▽構成委員

- ◎児玉美環子 ○繁昌 誠吾
- ・梶原 正憲 ・吉岡 鳴人
- ・松本 辰二 ・西園美恵子
- ・永山 勇人 ・近藤 善光
- ・佐々木茂己 ・原田 靖

▽所管事項

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項



◆予算委員会

▽構成委員

- ◎梶原 正憲 ○原田 靖
- ・別府込初男 ・田辺 水哉
- ・東 秀哉 ・西園美恵子
- ・下本地 隆 ・永山 勇人
- ・児玉美環子 ・今村 光春
- ・花牟礼 薫 ・柴立 豊子
- ・中馬美樹郎

▽所管事項

- ・一般会計予算に関する事項

◆決算委員会

▽構成委員

- ◎福崎 和士 ○松本 辰二
- ・吉岡 鳴人 ・新保 秀美
- ・福田 伸作 ・近藤 善光
- ・佐々木茂己 ・繁昌 誠吾
- ・市来 洋志 ・伊野 幸二
- ・岩松 近俊 ・米永 淳子
- ・時吉 茂治

▽所管事項

- ・一般会計決算に関する事項

◆総務委員会

▽構成委員

- ◎福田 伸作 ○別府込初男
- ・松本 辰二 ・下本地 隆
- ・繁昌 誠吾 ・柴立 豊子
- ・宮島 眞一

▽所管事項

- ・市長公室、総務部、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に関する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項



◆市民環境委員会

▽構成委員

- ◎伊野 幸二 ○中馬美樹郎
- ・梶原 正憲 ・東 秀哉
- ・児玉美環子 ・花牟礼 薫
- ・市来 洋志

▽所管事項

- ・市民生活部及び上下水道部の所管に関する事項



◆産業建設委員会

▽構成委員

- ◎米永 淳子 ○佐々木茂己
- ・田辺 水哉 ・新保 秀美
- ・福崎 和士 ・原田 靖
- ・岡元 浩一

▽所管事項

- ・建設部、農林商工部及び農業委員会の所管に関する事項

◆文教福祉委員会

▽構成委員

- ◎西園美恵子 ○吉岡 鳴人
- ・永山 勇人 ・近藤 善光
- ・今村 光春 ・岩松 近俊
- ・時吉 茂治

▽所管事項

- ・教育委員会、保健福祉部及び福祉事務所の所管に関する事項



平成30年度議会報告会の意見等に対する回答を公表しています。

鹿屋市議会では、昨年開催した議会報告会でいただいた議会に対するご意見・ご要望等について、議会運営委員会において議論を重ね、対応等を検討しました。

また、市政全般に対するご意見・ご要望については執行機関に申し送りました。

議会での検討結果と執行機関からの回答について、市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

なお、回答については、各総合支所、各出張所などでも閲覧できます。

○市議会ホームページ <http://www.e-kanoya.net/htmbox/gikai/index.html>

会議録検索システムをご利用ください。

鹿屋市議会では、平成18年(市町合併)以降の定例会の会議録を閲覧、検索することができる「**会議録検索システム**」を導入しています。

また、**スマートフォンやタブレット端末でも**閲覧することができますので、ぜひご利用ください。



「ことば」や「発言者」から検索することができます。



<p>※この日程は予定であり、変更になることがありますので、詳細な日程等については議会事務局までお問い合わせください。</p> <p>※本会議は傍聴することができますので、ぜひ、お越しください。</p> <p>また、本会議映像をインターネットで配信していますので、ぜひ、ご利用ください。</p>	7月	28日	27日	26日	25日	24日	14日	6月	平成31年
	予算委員会 予算委員会 本会議	産業建設委員会 文教福祉委員会	総務委員会 市民環境委員会	議会運営委員会 本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議	本会議	6月定例会会期日程(案)

議会報委員会からのお知らせ

議会だよりは、議会内容を要約して掲載しています。詳細については、会議録を閲覧ください。
会議録は、市立図書館、情報公開室(市役所5階)若しくは、市議会ホームページで
ご覧いただけます。
また、よりよい誌面づくりのために皆様のご意見・ご感想等を事務局までお寄せください。

★議会報委員会

- 構成委員
- ◎中馬美樹郎 ○花牟礼 薫
 - 田辺 水哉 東 秀哉
 - 近藤 善光 岩松 近俊
 - ◎は委員長 ○は副委員長

【お問い合わせ先】

鹿屋市議会事務局
TEL 0994-31-1143
メールアドレス gikai@kanoyanet